

周波数ひっ迫対策のための国際標準化連絡調整事務 平成25年度終了評価結果

(5点満点)

案件名	実施期間	主な評価コメント	評価
Cospas-SarsatへのPLBビーコン制御技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H22-H25	<ul style="list-style-type: none"> ・PLBビーコンの高度化に向けて日本の提案を大筋で標準化できる見通しであり、十分な成果をあげている。 ・一部我が国と意見が一致していない国があるが、概ね我が国の提案に対して好意的な評価を得ることができ当初の目標は達成できた。 ・モントリオールを中心とする7回の関係国際会合を経て他国を説得できた成果は大きい。 	4.6
移動体向け地上デジタルマルチメディア放送システムに関する国際標準化連絡調整事務	H23-H25	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な提案のある中で、日本の主張を通すべく効果をあげている。 ・ITU-R BT.2052の勧告化が最大の成果である。標準化に向けた諸外国の動向調査等、地道な活動が実ったものと思われる。 ・我が国の方式である ISDB T multimedia broadcasting を含む形で新勧告が承認されたことから、目標とした勧告化を達成したことになり、大いに評価できる。 	4.4